

	<h2 style="margin: 0;">大泉橋戸公園の田んぼで 待望の稲刈り！</h2> <h3 style="margin: 0;">～昔の風景を復元した「橋戸田んぼ」で小学生が収穫体験～</h3>
<p style="text-align: center;">日 時</p>	<p>10月11日(水) 午前8時45分～9時45分 大泉第一小学校 10月12日(木) 午前8時45分～9時20分 大泉北小学校 午後1時30分～2時20分 橋戸小学校</p>
<p style="text-align: center;">場 所</p>	<p>練馬区立大泉橋戸公園(大泉町2-9-34)</p>
<p>11日、12日に区立大泉橋戸公園(大泉町2丁目)内の水田で、近隣の小学校3校(大泉第一小学校、大泉北小学校、橋戸小学校)の5年生213人が、6月に自分たちで植えた稲の収穫を体験した。</p> <p>田んぼは、「橋戸田んぼ」として親しまれた田園風景の復元を望んだ周辺の小学校や地域団体の強い要望を受けて区が整備したもので、管理運営は、地域団体の「橋戸水田自主管理会」が行っている。</p> <p>児童らは、管理会の方から説明を受けた後、鎌を手にして、稲刈りを体験した。収穫した稲は、脱穀および精米した上で、調理実習や収穫祭で味わう予定。</p>	



【大泉北小の稲刈りの様子1】

【橋戸田んぼの稲作風景を 小学生が再現！】

区立大泉橋戸公園の「田んぼ」は、園内に残る弁天池の湧水を活用し、かつて白子川流域で行われていたものを平成23年度に復元整備したもので、水田面積は230㎡で6枚の田んぼに分かれている。平成24年度から周辺の大泉第一小、大泉北小、橋戸小の児童が毎年稲作体験を行っており、同校の児童らは今年6月に田植えを体験している。



【大泉北小の稲刈りの様子2】

【当日の様子】

子どもたちは管理会の方から説明を受けた後、鎌を手にして田んぼに入り、見事に黄金色に実った稲の収穫を体験した。稲刈り体験を行った子どもたちは「思っていたよりも簡単に刈り取れた」「楽しいからもっとやりたい」などと話していた。

また、田植え以降、除草、防鳥ネット張り、毎日の水量調整をしてきた橋戸水田自主管理会の杉本副会長は、「今年は夏の雨が少なく日照不足となり心配していた。無事子どもたちに稲刈りをしてもらえてよかった。子どもたちが喜んで稲刈りをしている様子を見られて嬉しい。」と話してくれた。



【大泉北小の稲刈りの様子3】

【田んぼの生き物たち】

子どもたちは、手慣れた様子で作業を進めながら、田んぼの生き物たちに関心が行く様子で、「バッタが跳ねた」と興味を持って近づいたり、「この虫なんだろう」と目の前の生き物をじっくり見つめていた。管理会の杉本副会長は、「田んぼにはバッタのほか、カエルなど様々な生き物が暮らしている。事業開始当初と比べ、だいぶ生き物が増えてきた。」と、実感を語ってくれた。



【杉本副会長と大泉北小の児童】